

可燃ごみや有価物等以外の廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従い適正に処理を行わなければなりません。廃棄物を研究室単位で処理する場合は、部局担当係を通してください。

また本学では、細かなごみの分別を行っています。とくにご自分の部屋には、メモ用紙や名刺、はがき、包装紙等の紙切れを入れる容器を必ず用意してください。廃棄物の資源化率を高めるために、毎年、可燃ごみの中の紙切れの量を点検しています。

**実験系有害廃棄物（詳細は、化学物質管理及び「廃液・廃棄物処理の手引き」参照）**

種 別	分 別	注意事項等	排出形態
有機系廃液	ハロゲン系有機廃液	pH>5以上	部局に設置しているドラム缶
	その他の有機廃液	特殊引火物は廃薬品	
無機系廃液	重金属・フッ素・定着廃液	利用の手引き参照	20L指定容器 注 )  ( 270mm × 270mm × 385mm )
	・酸性廃液		
	シアン廃液及びヒ素	pH>10以上	
	アルカリ性廃液		
含水銀廃棄物	無機・有機水銀廃液、含水銀廃薬品、含水銀汚泥、水銀付着物、水銀使用機器(温度計等)		夏にリスト提出、10月頃収集
廃薬品等	A:薬品瓶、B:廃棄物、C:アンプル		夏にリスト提出、11月頃収集
感染性廃棄物	専用の容器に入れ、病院以外の部局は、各部局担当係へ連絡して搬出する。		

注）20L指定容器については、環境安全センター（092-802-2591）にお尋ねください。

**実験系廃棄物の処理**

有害廃棄物（特別管理産業廃棄物）は部局毎に集められ、定期的に全学一括収集を行っています。部局内の収集方法は部局毎に異なりますので、部局担当に問い合わせてください。部局担当者、特別管理産業廃棄物の排出毎に、電子マニフェストや管理票を交付しています。

実験系分別ごみとしては、瓶（生活系共通）、実験系可燃ごみ（廃プラスチック等）、有害付着物、不燃ごみ生活系

共通)があります。各部署の分別ごみ置き場に出してください。

## 生活系廃棄物の処理

### \*生活系分別ごみ

瓶、飲料缶、ペットボトル、発泡スチロール、金属くず、不燃ごみ  
各部署に設置している分別ごみ置き場に、ルールを守って出してください。

### \*その他の廃棄物

乾電池：7月頃に収集。

廃蛍光管：10月頃に収集。

機器類、粗大ゴミ：各部署の担当係を通して、集積保管場所に。

## リサイクルシステム

「譲ります」、「貸します」、「探しています」といった登録が、下記のURLからできます。「リサイクル品照会」で探して、ほしいものがありましたら、入力した人に直接照会を行い、物品のリサイクルを行うシステムです。大いに活用してください。

<http://recycle.jimu.kyushu-u.ac.jp/asp/enteruser.asp>

### もっと詳しく知るには

- ・環境安全センターホームページ <http://ces.kyushu-u.ac.jp> 上記URLから、「化学物質管理及び廃液・廃棄物処理の手引き」、無機系廃液の「処理依頼伝票」等がダウンロードできます。

### お問い合わせ先

- ・廃棄物処理全般 総務部環境安全管理課環境管理係（環境安全センター）092-802-2591 内線:90-2591
- ・リサイクルシステム 財務部資産活用課 092-802-6177 内線:90-6177